

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月23日

広島市長

提出者

住所 広島市南区京橋町1番23号

氏名 株式会社銭高組広島支店

執行役員支店長 小柳 聡

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 082-568-5265

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社銭高組広島支店
事業場の所在地	広島市南区京橋町1番23号
計画期間	2025. 4. 1～2026. 3. 31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	2024年度建設工事請負完成工事高3,504百万円
③従業員数	2025年4月1日現在 40名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3のとおり

別紙1  
(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状:前年度( 2024 年度) 実績量  
計画:今年度( 2025 年度) 計画量

単位:トン/年

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
アスファルトコンクリート	92.5	92.5									92.5	92.5			92.5	92.5				
ガラス及び陶磁器くず	5	5									5	5			0	0				
コンクリート塊	604.232	604.232									604.232	604.232			598.2	598.2				
その他がれき類	63.64	63.64									63.64	63.64			6.3	6.3				
金属くず	1.13	1.13									1.13	1.13			1.13	1.13				
建設汚泥	388.85	388.85									388.85	388.85	388.85	388.85	388.85	388.85				
混合廃棄物	42.562	42.562									42.562	42.562			1.2	1.2				
紙くず	17.19	17.19									17.19	17.19			17.19	17.19				
廃プラスチック類	132.3	132.3									132.3	132.3			39.69	39.69				
廃石膏ボード	35.7	35.7									35.7	35.7			35.7	35.7				
木くず	110	110									110	110			110	110				
合計	1493.104	1493.104	0	0	0	0	0	0	0	0	1493.104	1493.104	388.85	388.85	1290.76	1290.76	0	0	0	0

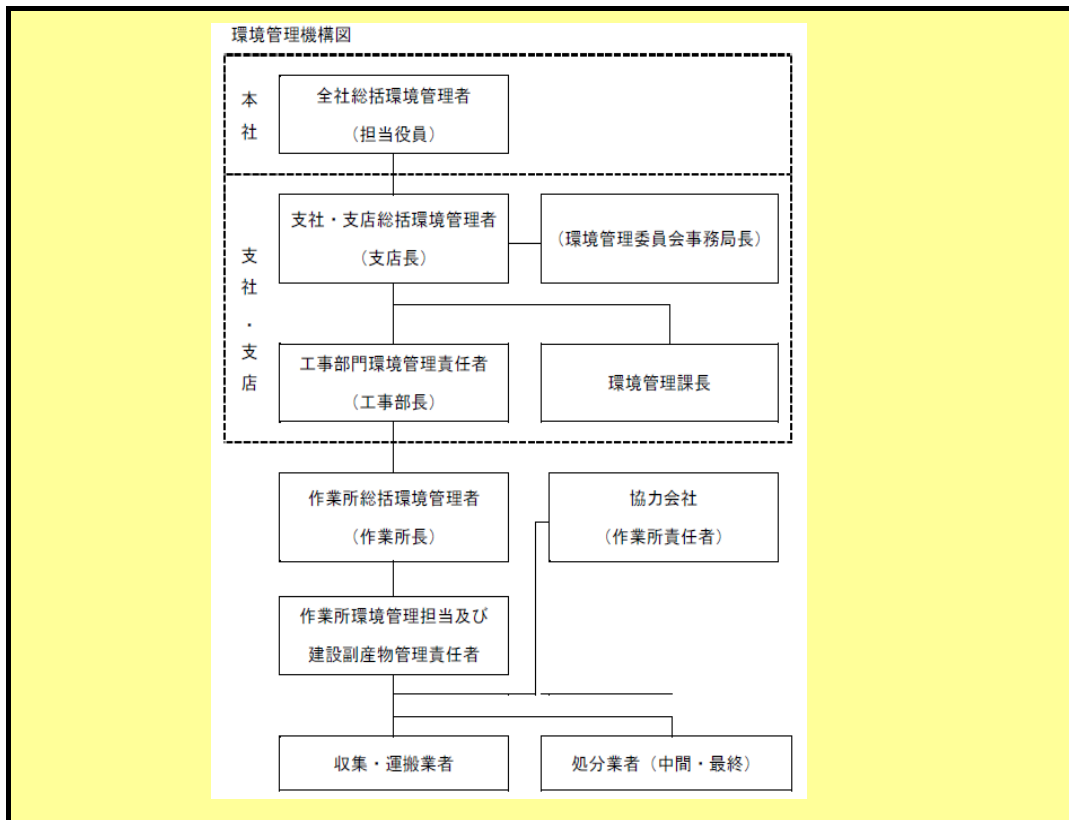
※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

## 別紙2(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

### 【参考様式】

記載項目を満たしていれば、任意の様式で作成したもので提出可能です。

### 1 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項(管理体制図等)



### 2 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

<p>①現状 (これまでに実施した取組)</p>	<p>作業所ごとに建設副産物管理計画書を作成し、月次で達成状況を管理し発生抑制に努めている。また、分別回収によりリサイクル率の向上と、産業廃棄物の最終処分場への搬出抑制を行っている。</p>
<p>②計画 (今後実施する予定の取組)</p>	<p>(目標)建設廃棄物の原単位の削減(施工高1億円当たりの廃棄物量) 土木:6.4t/億円、建築:10.2t/億円、到達目標:9.4t/億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設副産物の発生量を抑制する工法を採用し、計画書に反映させ実施する。</li> <li>・梱包材・残材料の減量化・再利用等発生抑制をする。</li> <li>・廃棄物の減量化、リサイクル率の向上等の指導教育を実施し、環境負荷低減に努める</li> </ul>

### 3 産業廃棄物の分別に関する事項

<p>①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p>	<p>全ての建設廃棄物を分別回収するよう指導している。なお、分別収集する場所が確保出来ない作業所は、特定建設資材と他品目1種目を最低分別品目に定め回収している。 請負金額4億円以上の工事については、ゼロエミッションに取り組んでいる。</p>
<p>②計画 (今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p>	<p>(目標)廃棄物のリサイクル率の向上 全体目標98.5% ・特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木くず)100%再資源化 ・産業廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底 ・混合廃棄物量の削減</p>

### 4 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

<p>①現状 (これまでに実施した取組)</p>	<p>実施していません。</p>
<p>②計画 (今後実施する予定の取組)</p>	<p>今後も実施する予定はありません。</p>

### 5 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

<p>①現状 (これまでに実施した取組)</p>	<p>実施していません。</p>
<p>②計画 (今後実施する予定の取組)</p>	<p>今後も実施する予定はありません。</p>

6 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

<p>①現状 (これまでに実施した取組)</p>	<p>実施していません。</p>
<p>②計画 (今後実施する予定の取組)</p>	<p>今後も実施する予定はありません。</p>

7 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

<p>①現状 (これまでに実施した取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェスト(EDIシステム接続登録業者イーリバー ドットコム)取扱可能業者を極力選定し、リスク管理の徹 底と効率化を図っている。</li> <li>・委託契約時に許可書の写し、許可車両番号、処分先ま での運搬経路の確認をする。</li> <li>・建設リサイクル法、廃棄物処理法の、適正処理を徹底す るため、建設副産物委託契約書及び建設副産物管理計 画書を工事部、安全環境課でチェックし、特に処理業者の 処理能力について、適正処理が出来るか確認している。</li> </ul>
<p>②計画 (今後実施する予定の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出時には中間処理場まで適時追跡調査を実施して、 その処理を確認する。</li> <li>・紙マニフェストを使用する場合は、記載内容不備がない よう発行し、B2票・D票・E票の完全回収を行う。</li> </ul>

## 当該事業場において行っている事業に関する事項

## ④産業廃棄物の一連の処理の工程

品目	処理委託 (中間処理方法)	再生品目	最終処分方法
汚泥	脱水・乾燥・固化	改良土、路盤材等	
廃油	焼却	セメント材料	
廃プラスチック	破砕	燃料	安定型埋立処分場
紙くず	破砕	燃料	
木くず	破砕	燃料	
金属くず	破砕	鋼材	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	路盤材	安定型埋立処分場
がれき類	破砕	再生砕石	安定型埋立処分場
廃石膏ボード	破砕	石膏ボード再生	管理型埋立処分場
コンクリート塊	破砕	再生砕石	
アスファルト コンクリート塊	破砕	再生アスコン	
ダンボール	圧縮	再生ダンボール	
混合廃棄物 (安定型)	選別	熱エネルギー原料	安定型埋立処分場
混合廃棄物 (管理型)	破砕・圧縮	熱エネルギー原料	管理型埋立処分場